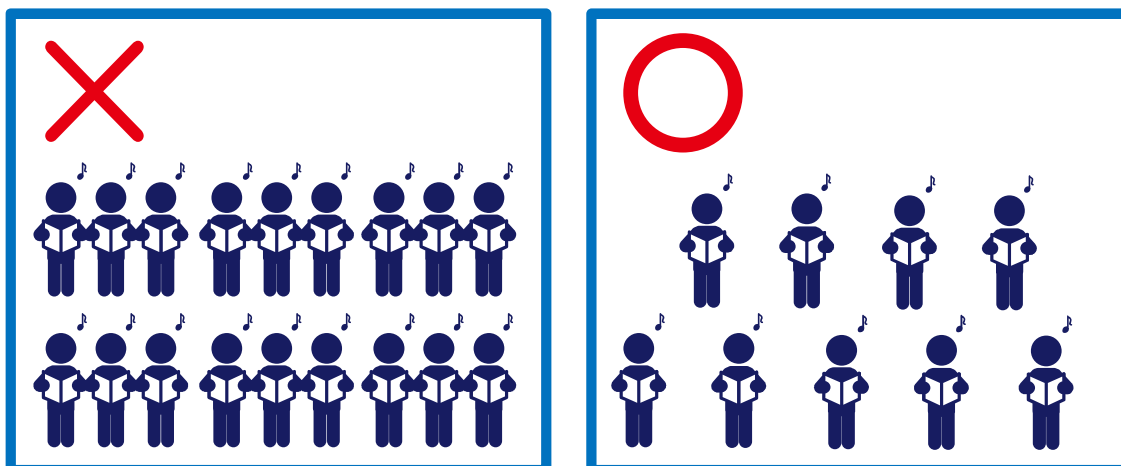
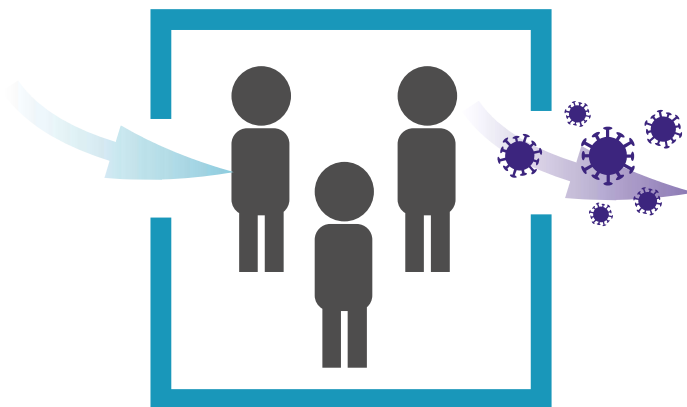


利用施設

- ① 概ね収容定員の50%以下の人数を目安に。
収容定員20名の場合…10名までの利用が望ましい



- ② 窓の開放が可能であること。もしくは、
機械換気により必要換気量が確保できること。



- ③ 感染予防対策が徹底されていること。



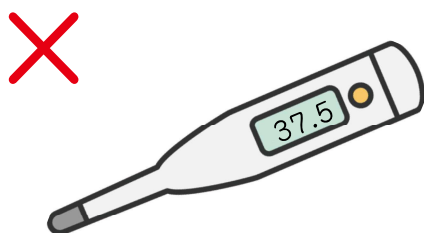
日常の対策

① 名簿の管理

② 体調の管理

過去14日以内で、以下に該当する項目があれば、出席しないようにしましょう。

① 平熱を超える発熱



④ 嗅覚や味覚の異常



② 咳、のどの痛みなど風邪の症状



⑤ 体が重い、疲れやすい



③ だるさ、息苦しさ



⑥ 感染症陽性者との濃厚接触

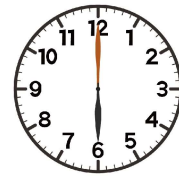
⑦ 感染の疑いがある同居家族・知人がいる

⑧ 過去14日以内に、入国制限、入国後の要観察期間地域への渡航、または当該在住者との濃厚接触がある

練習当日の対策Ⅰ

① 会場設営・撤収

- ① 椅子や譜面台等備品の搬出入・設置は、予め**時間**と**人員**を設定し、十分な時間をもって設営を行いましょう。
- ② **マスク**を着用し、**咳エチケット**を実践しましょう。
- ③ 設置後、備品の**消毒**を行いましょう。
ピアノは専用クリーナーの使用を！
- ④ 設営前後・撤収後に**手洗い**をしましょう。



② 会場入場時

- ① 密集しないよう、**分散入場策**を講じましょう。
- ② 窓と出入り口を開放し、**換気**を行いましょう。
- ③ **マスク**を着用し、**咳エチケット**を実践しましょう。
- ④ 入場前に**手洗い**をしましょう。
- ⑤ 入との**間隔**を1m以上離し、
会話はなるべく控えましょう。
- ⑥ 楽譜類は手から手への**配布**を避け、
回覧はしないようにしましょう。
- ⑦ 会場内での**飲食**は控えましょう。



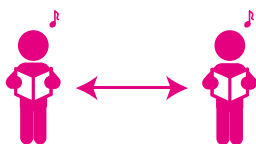
練習当日の対策Ⅱ

③ 練習時

- ① 団員の距離は前後 2m 以上、左右 1m 以上を確保しましょう。また、向かい合う配置は避けましょう。
- ② 指導者・伴奏者と団員との距離は、適切な距離を確保しましょう。
- ③ 座っている団員と立っている団員が混在しないようにしましょう。
- ④ 咳エチケットを実践しましょう。
- ⑤ マスクは飛沫拡散防止の効果があるため、着用を推奨します。
- ⑥ 身体的な接触をしないようにしましょう。
- ⑦ 連続した練習時間は 30 分以内とし、5 分以上の換気を行いましょう。
- ⑧ 楽譜やプリント類の共有は避けましょう。

④ 休憩時

- ① マスクを着用し、咳エチケットを実践しましょう。
- ② 人との間隔を 1m 以上離し、会話はなるべく控えましょう。
- ③ 飲食物の共有は避けましょう。
- ④ 窓と出入り口を開放し、換気を行いましょう。



⑤ 練習後

- ① 出席者をチェックし、名前を控えておきましょう。
- ② 退場時に密集しないよう、分散退場策を講じましょう。
- ③ マスクを着用し、咳エチケットを実践しましょう。
- ④ 連絡やミーティングは可能な限り書面やオンラインで行いましょう。
- ⑤ 会食等は控えましょう。